

B：絵を書くことが楽しい？

A：うん。

【施設生活が悪い(嫌だ)】

A：やだ。

B：ん？やだ？

A：やだ。

B：やだ。どうして嫌ですか？

A：やっぱり、ちょっとうるさくて。何かたまに良いんだけど、何か夜中まで CD 聞いていて。寝付けないの。そういうの。

B：ごめんね。やだっていうのは。ごめんね。友だちが嫌なのか、それとも職員さんが嫌なのかな？

A：友だち。

b.楽しいこと

施設での生活で楽しいことについて尋ねたところ、「ある」が 9 人、「どちらともいえない」が 1 人、「無回答」が 4 人であった(表 13)。

またその詳細として、「ある」では「おしゃべりをする」、「テレビを見る」、「歌を歌う」などがあげられた(表 13)。

【楽しいことがある(おしゃべりをする)】

A：ああ、彼氏と話してる。

B：ことが好き？ここの生活では。

A：はい。

B：はい、わかりました。

c.嫌なこと

施設での生活で嫌なことを尋ねたところ、「ある」が 6 人、「ない」が 5 人、「無回答」が 3 人であった(表 13)。

またその詳細として、「ある」では「同じことを繰り返し言う利用者がある」、「他の利用者が夜中まで音楽を聞いていてうるさい」、「他の利用者に家に帰れと言われた」などがあげられた(表 13)。

【嫌なことがある(同じことを繰り返す言う利用者がいる)】

A：一番嫌いな利用者ではね。だいたいね。やっぱり Z さんもね。ちょっとね。同じことを言う。何度か繰り返して。ちょっとしつこくなっちゃうと。ちょっと機嫌悪くなっちゃいますね。

B：そうね。友だちと話すのが嫌い。おんなじこと繰り返されるのが嫌いなのか。A さんは。

A：そうです。

B：はい、わかりました。

d. やってみたいこと

施設での生活でやってみたいことを尋ねたところ、「ある」が 6 人、「ない」が 1 人、「無回答」が 7 人であった(表 13)。

またその詳細として、「ある」では「お菓子を作る」、「絵を描く」、「本を読む」などがあげられた(表 13)。

【趣味がしたい(お菓子を作る)】

A：お菓子作り。

B：お菓子作り。ちなみにどんなお菓子作りしましょう。

A：ケーキとか。

B：ケーキとか。

A：甘いもの。

B：甘いものが良いの？

A：スイーツ。

B：はい、わかりました。

e. 好きなこと

施設での生活で好きなことができているか尋ねたところ、「できている」が 8 人、「無回答」が 6 人であった(表 13)。

またその詳細として、「できている」では「作業をする」、「テレビを見る」、「本を読む」などがあげられた(表 13)。

【好きなことができている(作業をする)】

A：作業は好き。

B：作業は好き。そうですか。作業は今何の作業が好きですか？

A：ぞうきんを糸で縫ってるのやって。細かく。

B：ぞうきん作りしてるんだ。

A：はい。

f.担当している仕事

施設での生活で担当している仕事を尋ねたところ、「ある」が6人、「無回答」が8人であった(表13)。またその詳細として、「ある」では「作業」、「掃除」、「運動」があげられた(表13)。

g.職員との仲

職員との仲を尋ねたところ、「良い」が4人、「どちらともいえない」が3人、「悪い」が1人、「無回答」が3人であった(表13)。

またその詳細として、「良い」では「優しくて好き」、「仲が良い」が、「どちらともいえない」では「話しぶりがいい職員がいる」、「良い時と悪い時がある」が、「悪い」では「ちゃんと注意してくれない」がそれぞれあげられた(表13)。

【どちらともいえない(話しぶりがいい職員がいる)】

B：職員さんの中で話しぶりがいいというか、話しぶりがいい職員さんはいますか？

A：うーん、ちょっといます。

B：おっ、ちょっといる。

A：はい。

B：ちょっと話しぶりがいい。

A：うん。

h.利用者同士の仲

利用者同士の仲を尋ねたところ、「どちらともいえない」が4人、「悪い」が2人「良い」が1人、「無回答」が7人であった(表13)。

またその詳細として、「どちらともいえない」では「何人かは仲が良い」、「時々けんかもする」、「ちょっと楽しい」が、「悪い」では「嫌い」、「少し嫌」が、「良い」では「友だちがいる」がそれぞれあげられた(表13)。

② 地域生活について

a.意向

地域生活をしたいか尋ねたところ「したい」が7人、「したくない」が3人、「無回答」が4人であった(表13)。

またその詳細として、「したい」では「1人暮らしをしたい」、「家族と暮らしたい」などが、「したくない」では「施設で暮らしたい」がそれぞれあげられた(表13)。

【地域生活をしたい(1人暮らしをしたい)】

A：まあ、グループホームでも行きたいなあって思って。

B：グループホームで暮らしたい。そうですか。それは、ここの施設のお友だちと住みたいか。それとも B さんが今までの色々な人と、あったお友だちと住みたいですか？  
どっちが好きですか？

A：1人暮らし。

B：1人暮らし。1人暮らしをしてみたい？

A：うん。

b. やってみたいこと

地域で暮らしてやってみたいことについて尋ねたところ、「ある」が8人、「無回答」が6人であった(表13)。

またその詳細として、「ある」では「料理を作る」、「資格取得」、「自転車に乗って出かける」などがあげられた(表13)。

【仕事をしたい(料理を作る)】

A：お料理とか作って、たまにヘルパーだけ、お料理作る人を来てもらって。で、自分で作ったりしてやりたいなとかって。

B：へー、食事を作りたい。得意な料理とかありますか？例えば、Bさん、こんな料理が得意ですか。

A：卵の、何だ、こうふに丸めるやつ。

B：あつ、厚焼き卵焼き？

A：うん。

c. 怖いこと

地域で暮らすのに怖いことを尋ねたところ、「ない」が3人、「ある」が3人、「無回答」が8人であった(表13)。

またその詳細として、「ある」では「殺されること」、「地震」、「火事」などがあげられた(表13)。

【怖いことがある(殺されること)】

A：殺されるのが嫌だ。

B：殺されるのが嫌だ。

A：だって、ニュースでやってるもん。だって。

B：テレビの影響で、ニュースとかやってて怖いな一って思いました？

A：何もしないで、いきなり刃物で突き刺されたら怖いもん。

表 1 3 2 回目調査結果

施設生活	感想	良い	7人	内容	楽しい、好き、本を読んでいる 嫌だ、トラブルがある		
		悪い	3人				
		普通	1人				
		無回答	3人				
	楽しいこと	ある	9人			おしゃべりをする、テレビを見る、歌を歌う、絵を描く、ユニットでお茶する、車を洗う、作業をする、ドライブに行く 何とも言えない	
		どちらともいえない	1人				
		無回答	4人				
		嫌なこと	ある				6人
	嫌なこと	ない	5人				同じことを繰り返し言う利用者がある、他の利用者が夜中まで音楽を聞いていてうるさい、他の利用者に家に帰れと言われた、ガイドヘルパーをあまり使えていない 利用者同士でトラブルがある、ご飯の時に利用者から邪魔が入る、利用者同士のトラブルを職員が解決してくれない、健康上食事制限がある、他の利用者にも暴力をふるった
無回答		3人					
やってみたいこと		ある	6人				
やってみたいこと		ない	1人	お菓子を作る、絵を描く、本を読む、本を作る、ビデオを見る、車を洗う、格闘技を習う、作業をする			
	無回答	7人					
	好きなこと	できている	8人				
	好きなこと	無回答	6人		作業をする、テレビを見る、本を読む、新聞を読む、自転車に乗って出かける		
担当している仕事		ある	6人				
担当している仕事		無回答	8人			作業、掃除、運動	
		職員との仲	良い				5人
	職員との仲	どちらともいえない	2人				優しく好き、仲が良い、話しやすい職員がいる、良い時と悪い時がある ちゃんと注意してくれない
		悪い	1人				
無回答		6人					
利用者同士の仲		どちらともいえない	4人	何人かは仲が良い、時々けんかもする、ちょっと楽しい 嫌い、少しいや 友だちがいる			
	悪い	2人					
	良い	1人					
	無回答	7人					
地域生活	意向	したい	7人		内容	1人暮らしをしたい、家族と暮らしたい、家族と彼氏と暮らしたい、職員と暮らしたい、歌手と友だちと暮らしたい 施設で暮らしたい	
		したくない	3人				
		無回答	4人				
		やってみたいこと	ある				8人
	無回答		6人				
	怖いこと		ない	3人			殺されること、地震、火事、水害、交通事故、道に迷うこと
ある			3人				
無回答		8人					

#### 4) 調査結果の比較

##### ① 施設生活感想の比較

施設生活の感想を比較したところ、変化が見られたのが3人であった(表14)。また、その変化の方向は「悪い→良い」が2人、「良い→悪い」が1人であった(表14)。

表14 施設生活感想の比較

		ID	1回目		2回目		変化	変化の方向
施設生活	感想	A	良い	楽しい	良い	楽しい	無	—
		B	悪い	責任を持たれる	良い	本を読んでいる	有	悪い→良い
		C	無回答		無回答		—	—
		D	無回答		無回答		—	—
		E	良い	楽しい	良い	好き	無	—
		F	良い	楽しい	良い	楽しい	無	—
		G	良い	楽しい	良い	楽しい	無	—
		H	無回答		無回答		—	—
		I	良い	楽しい	良い	楽しい	無	—
		J	悪い	迷惑をかける利用者がいる	良い	楽しい	有	悪い→良い
		K	普通	普通に過ごせる	普通	普通に過ごせる	×	—
		L	悪い	楽しくない	悪い	嫌だ	×	—
		M	良い	楽しい	悪い	職員の態度が嫌	有	良い→悪い
		N	悪い	トラブルがある	悪い	トラブルがある	×	—

② 施設生活で楽しいことの比較

施設生活で楽しいことの比較をしたところ、変化が見られたのが1人であった(表15)。また、その変化の方向は「ある→どちらともいえない」が1人であった(表15)。

表15 施設生活で楽しいことの比較

		ID	1回目	2回目	変化	変化の方向
施設生活	楽しいこと	A	ある テレビを見る	ある ドライブに行く	無	—
		B	ある 本を読む	無回答	—	—
		C	無回答	無回答	—	—
		D	無回答	無回答	—	—
		E	ある ご飯を食べる、 テレビを見る、 トランプをする	ある テレビを見る、 歌を歌う	無	—
		F	ある カラオケをする、 調理実習を する、歯磨きを する、歌を歌う、 おしゃべりを する、字を書く	ある 作業をする	無	—
		G	ある カラオケをする、 音楽を聞く	ある 絵を描く	無	—
		H	無回答	無回答	—	—
		I	ある のんびりする、 テレビを見る	ある テレビを見る	無	—
		J	ある 音楽を聞く、 おもちゃで遊ぶ	ある 車を洗う	無	—
		K	ある 仕事をする	どちらとも いえない 何とも言えない	有	ある→どちら ともいえない
		L	ある おしゃべりを する、テレビを 見る	ある テレビを見る	無	—
		M	ある お茶しに行く、 食事に行く、 お墓参りに 行く、忘年会、 新年会、 クリスマス会	ある ユニットで お茶する	無	—
		N	ある 買い物に行く	ある おしゃべりを する	無	—

③ 施設生活で嫌なことの比較

施設生活で嫌なことの比較をしたところ、変化が見られたのが 5 人であった(表 16)。また、その変化の方向は「ある→ない」が 3 人、「ない→ある」が 2 人であった(表 16)。

表 16 施設生活で嫌なことの比較

	ID	1回目	2回目	変化	変化の方向	
施設生活	A	ある	他の利用者に頭をたたかれる	ない	有	ある→ない
	B	ある	責任を持たされる	ない	有	ある→ない
	C	無回答		無回答	—	—
	D	無回答		無回答	—	—
	E	ない		ない	無	—
	F	無回答		ない	—	—
	G	ない		ある	有	ない→ある
	H				—	—
	I	ない		ある	有	ない→ある
	J	ある	施設の中で走る利用者がいる、ノックを入る利用者がいる、暴力をふるう利用者がいる	ある	無	—
	K	ある	他の利用者とのトラブルがあった時に解決できないでそのままになるとストレスがたまる	ない	有	ある→ない
	L	ある	他の利用者にいじめられる	ある	無	—
	M	ある	職員とうまくいかない時、健康上食事制限がある	ある	無	—
	N	ある	利用者同士でトラブルがある、ご飯の時に利用者から邪魔が入る、トラブルを職員が解決してくれない	ある	無	—



④ 施設生活でやってみたいことの比較

施設生活でやってみたいことの比較をしたところ、変化が見られたのが1人であった(表17)。また、その変化の方向は「ある→ない」が1人であった(表17)。

表17 施設生活でやってみたいことの比較

		ID	1回目	2回目	変化	変化の方向			
施設生活	やってみたいこと	A	ある	絵を描く、本を読む、ビデオを結婚をする	ある	絵を描く、本を読む、ビデオを	無	—	
		B	ある					—	—
		C	無回答			無回答		—	—
		D	無回答			無回答		—	—
		E	ある	歯を磨く、食べる、ゲームをする	ある	絵を描く	無	—	
		F	ある	物語を作る	ある	本を作る、お菓子を作る	無	—	
		G	ある	歌を歌う	無回答		—	—	
		H	無回答		無回答		—	—	
		I	ある	作業をする	ある	作業をする	無	—	
		J	ある	車を洗う	ある	車を洗う	無	—	
		K	ある	格闘技を習う	ある	格闘技を習う	無	—	
		L	ある	歌を歌う	ない		有	ある→ない	
		M	無回答		無回答		—	—	
		N	無回答		無回答		—	—	

⑤ 施設生活で好きなことの比較

施設生活で好きなことができているかを比較したところ、変化が見られるものは見あたらなかった(表18)。

表18 施設生活で好きなことの比較

		ID	1回目	2回目	変化	変化の方向		
施設生活	好きなこと	A	無回答	できている		—	—	
		B	できている	本が読める	無回答		—	—
		E	無回答		無回答		—	—
		D	無回答		無回答		—	—
		E	無回答		無回答		—	—
		F	できている	おいしいものが食べられる	できている	本が読める、新聞が読める、テレビが見られる	無	—
		G	できている	歌番組が見られる、マンガが読める	無回答		—	—
		H	無回答		無回答		—	—
		I	できている	のんびりできる、テレビが見られる	できている	テレビが見られる	無	—
		J	できている	音楽が聞ける、おもちゃで遊べる	できている	自転車に乗って出かけられる	無	—
		K	できている		できている		無	—
		L	無回答		できている	作業ができる	—	—
		M	無回答		できている	作業ができる	—	—
		N	無回答		できている	作業ができる	—	—

⑥ 施設生活で担当している仕事の比較

施設生活で担当している仕事を比較したところ、変化が見られるものは見あたらなかった(表 19)。

表 19 施設生活で担当している仕事の比較

		ID	1回目		2回目		変化	変化の方向
施設生活	担当している仕事	A	ある	掃除	ある	掃除	無	—
		B	ある	運動	ある	運動	無	—
		C	無回答		無回答		—	—
		D	無回答		無回答		—	—
		E	ある	掃除	無回答		—	—
		F	ある	作業	無回答		—	—
		G	ある	作業	無回答		—	—
		H	無回答		無回答		—	—
		I	ある	掃除	ある	掃除	無	—
		J	ある	作業	無回答		—	—
		K	ある	作業	無回答		—	—
		L	無回答		ある	作業	—	—
		M	ある	作業	ある	作業	無	—
		N	ある	作業	ある	作業	無	—

⑦ 施設生活での職員との仲の比較

施設生活での職員との仲を比較したところ、変化が見られたのが 2 人であった(表 20)。また、その変化の方向は、「どちらともいえない→良い」が 1 人、「良い→どちらともいえない」が 1 人であった(表 20)。

表 20 施設生活での職員との仲の比較

		ID	1回目		2回目		変化	変化の方向
施設生活	職員との仲	A	良い	仲が良い	どちらともいえない	話づらい職員がいる	有	良い→どちらともいえない
		B	どちらともいえない	仲良くしている職員もいる	良い	仲が良い	有	どちらともいえない→良い
		C	無回答		無回答		—	—
		D	無回答		無回答		—	—
		E	無回答		無回答		—	—
		F	良い	仲が良い	良い	仲が良い	無	—
		G	良い	やさしい	無回答		—	—
		H	無回答		無回答		—	—
		I	どちらともいえない	仲が良い職員はいる	どちらともいえない	仲が良い職員はいる	無	—
		J	良い	担当職員と仲が良い	良い	担当職員と仲が良い	無	—
		K	どちらともいえない	だいたいはい	どちらともいえない	だいたいはい	無	—
		L	良い	仲が良い	良い	優しくて好き	無	—
		M	どちらともいえない	良い時と悪い時がある	どちらともいえない	良い時と悪い時がある	無	—
		N	悪い	あまり好きではない	悪い	利用者を注意してくれない	無	—

⑧ 施設生活での利用者同士の仲の比較

施設生活での利用者同士の仲を比較したところ、変化が見られたのが1人であった(表21)。また、その変化の方向は「悪い→どちらもいえない」が1人であった(表21)。

表21 施設生活での利用者同士の仲の比較

		ID	1回目		2回目		変化	変化の方向
施設生活	利用者同士の仲	A	悪い	仲が良い 友だちはいない	どちらも いえない	ちょっと楽しい	有	悪い→どちらともいえない
		B	良い	仲が良い	無回答		—	—
		C	無回答		無回答		—	—
		D	無回答		無回答		—	—
		E	良い	友だちがいる	良い	友だちがいる	無	—
		F	どちらも いえない	時々けんかも する	どちらも いえない	時々けんかも する	無	—
		G	どちらも いえない	ちょっと怖い	無回答		—	—
		H	無回答		無回答		—	—
		I	良い	全員と仲が良い	無回答		—	—
		J	どちらも いえない	苦手な利用者 もいるが友だち もいる	どちらも いえない	苦手な利用者 もいるが友だち もいる	無	—
		K	どちらも いえない	何人かは仲が 良い	どちらも いえない	何人かは仲が 良い	無	—
		L	悪い	友だち関係が 嫌	悪い	少し嫌	無	—
		M	どちらも いえない	嫌な利用者も 良い利用者も いる	どちらも いえない	大丈夫	無	—
		N	悪い	うまくいってない	悪い	嫌い	無	—

⑨ 地域生活に対する意向の比較

地域生活に対する意向を比較したところ、変化が見られたのが2人であった(表22)。また、その変化の方向は、「したくない→したい」が1人、「どちらともいえない→したい」が1人であった(表22)。

表22 地域生活に対する意向の比較

		ID	1回目	2回目	変化	変化の方向
地域生活	意向	A	したくない 施設で暮らしたい	したくない 施設で暮らしたい	無	—
		B	したい 個人で暮らしたい	無回答	—	—
		C	無回答	無回答	—	—
		D	無回答	無回答	—	—
		E	したい 両親と暮らしたい	したい 両親と暮らしたい	無	—
		F	したくない 施設から出たくない お姉さんと暮らしたい、施設で暮らしたい	したい 施設から出たくない お姉さんと暮らしたい	有	したくない→ したい
		G	どちらともいえない 施設で暮らしたい	したい 歌手と友だちと暮らしたい	有	どちらともいえない→ したい
		H	無回答	無回答	—	—
		I	したくない 施設が良い	したくない 施設が良い	無	—
		J	したくない 施設で暮らしたい	したくない 施設で暮らしたい	無	—
		K	したい 1人暮らしをしたい	したい 1人暮らしをしたい	無	—
		L	したい 1人暮らしをしたい、家族と暮らしたい	したい 1人暮らしをしたい	無	—
		M	したい 1人暮らしをしたい	したい 1人暮らしをしたい	無	—
		N	したい お母さんと暮らしたい	したい お母さんと彼氏と暮らしたい	無	—

⑩ 地域生活でやってみたいことの比較

地域生活でやってみたいことを比較したところ、変化が見られるものは見あたらなかった(表 23)。

表 23 地域生活でやってみたいことの比較

		ID	1回目	2回目	変化	変化の方向		
地域生活	やってみたいこと	A	無回答	無回答	—	—		
		B	ある	無回答	—	—		
		C	無回答	無回答	—	—		
		D	無回答	無回答	—	—		
		E	ある	外での生活 両親と暮らす、 アニメ キャラクターに なる、お祭りに 行く、テレビを 見る、旅行に 行く	ある	アニメ キャラクターに なる	無	—
		F	ある	勉強をする、友 だちを作る、物 語を書く、 ゲームセンター でゲームをする	ある	働く	無	—
		G	ある	音楽を聞きに 行く、歌番組を 見る	ある	作業をする	無	—
		H	無回答		無回答	—	—	
		I	無回答		無回答	—	—	
		J	ある	車を洗う	ある	自転車に乗って	無	—
		K	ある	就職をする、 資格を取る	ある	就職をする、 資格を取る	無	—
		L	ある	1人暮らしを する、働く、 買いすぎに 注意する	ある	働く、料理を作る	無	—
		M	ある	1人暮らしを する、働く、 資格を取る	ある	1人暮らしを する、働く、 資格を取る	無	—
		N	ある	結婚をする、 働く	ある	働く	無	—

⑪ 地域生活で怖いことの比較

地域生活で怖いことを比較したところ、変化が見られるものは見あたらなかった(表 24)。

表 2 4 地域生活で怖いことの比較

		ID	1回目	2回目	変化	変化の方向		
地域生活	怖いこと	A	無回答	無回答	—	—		
		B	無回答	無回答	—	—		
		C	無回答	無回答	—	—		
		D	無回答	無回答	—	—		
		E	ない	無回答	—	—		
		F	ある	わからないこと だらけ	ある	殺されること、 地震、火事、 水害	無	—
		G	無回答		無回答	—	—	
		H	無回答		無回答	—	—	
		I	無回答		無回答	—	—	
		J	ある	火事、交通事故	ある	交通事故	無	—
		K	ない		ない		無	—
		L	無回答		ある	道に迷うこと	無	—
		M	ない		ない		無	—
		N	無回答		ない		—	—

### 5) 調査結果の変化

1回目と2回目の調査結果について、その回答傾向の違いを確認した。その際、1回目2回目いずれかの調査結果に無回答が生じた場合、そのデータは対象から除外した。その結果、1回目と2回目の調査結果の間には回答傾向の違いはあまり見られないことがわかった。しかし、回答傾向に違いが見られる項目もいくつか見受けられた。そのため、そのような違いが調査の合間に行った当事者講話によるものなのか、他の要因によるものなのかさらなる検証を行うことが必要になると考えられる。

表25 調査結果の変化

		変化あり(人)	変化なし(人)	変化の方向	(人)
施設生活	感想	3	8	悪い→良い	2
				良い→悪い	1
	楽しいこと	1	9	ある→どちらともいえない	1
	嫌なこと	5	5	ある→ない	3
				ない→ある	2
	やってみたいこと	1	6	ある→ない	1
	好きなこと	0	4		
	担当している仕事	0	5		
地域生活	職員との仲	2	7	どちらともいえない→良い	1
				良い→どちらともいえない	1
	利用者同士の仲	1	7	悪い→どちらともいえない	1
	意向	2	8	したくない→したい	1
				どちらともいえない→したい	1
	やってみたいこと	0	9		
	怖いこと	0	5		

## (2) 身体障害分野

### 1) 第1回目の調査結果

第1回目の調査結果について以下にまとめる。

#### ① 地域生活の希望の有無

本調査の対象者8名に対し、地域生活の希望を確認したところ、2名が希望を表明し、3名が希望しないことを表明した。また、3名は地域生活を理解できず、態度が不明な人に分類した。

表26 地域生活の希望の有無

地域で暮らしたい	A、E
地域で暮らしたくない	B、C、F
不明	D、G、H

#### ② 施設生活について

施設での生活の現状について以下にまとめる。

表27 施設で楽しいこと

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"><li>・フラワーセラピーなど (A)</li><li>・買い物外出 (A、E)</li><li>・食事 (A、E)</li><li>・お風呂 (A、E)</li><li>・他の入居者と話すこと (A)</li><li>・職員に手紙を代筆してもらっている (E)</li></ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"><li>・パソコン (B)</li><li>・1人での外出 (施設周辺のコンビニ) (B)</li><li>・食事 (C、F)</li><li>・お風呂 (C、F)</li><li>・コーラス、書道に参加 (F)</li></ul>
不明	<ul style="list-style-type: none"><li>・(食事はおいしい?) 何というか (まあまあ?) うん (D)</li><li>・(お風呂は?) 悪いことはない (D)</li><li>・(お風呂は?) 大好き (H)</li></ul>



表 28 施設で嫌なこと

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急がされる (A)</li> <li>・見たいテレビの途中で食事に行かないといけない (A)</li> <li>・食事を提供されるのに時間がかかる (A)</li> <li>・土日しか外出できない (A)</li> <li>・そばやうどんをもっと食べたい (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100%楽しいということはない (B)</li> <li>・職員と一緒に買い物に行くことができなくなった (大型電気店など) (B)</li> <li>・職員が入れ替わる、職員の身分があまり良くないんだと思う (C)</li> <li>・分からない (F)</li> </ul>
不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いことはない (D)</li> </ul>

表 29 施設で担当していること

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無農薬野菜を作っていて、毎日水をあげている (A)</li> <li>・他の入所者の世話をしている、洗濯物を取りに行ったり、しまったり (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし (B、C)</li> <li>・分からない (F)</li> </ul>
不明	

表 30 希望、要望

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出したい (具体的には、東京ドーム、映画館など) (A)</li> <li>・電動車いすの練習を今しているので、1人で買い物に行きたい (施設周辺のコンビニ) (E)</li> <li>・友達と旅行に行きたい (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の家遊びに行きたいが遠すぎて行けないトイレが問題 (B)</li> <li>・職員一緒に買い物に行けなくなった (B)</li> <li>・リハビリをするところがない (C)</li> <li>・あまりない (F)</li> </ul>
不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋 (D)</li> <li>・セックス (H)</li> </ul>

表 3 1 職員について

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌いな職員もいる、嫌いな職員が夜勤の場合は気を使う (A)</li> <li>・乱暴だなと思う人はいる、悪い職員はここは多くない (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員はよくやってくれている (B)</li> <li>・職員には迷惑をかけている (C)</li> <li>・職員は優しい (F)</li> </ul>
不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪くはないと思うけど (D)</li> <li>・悪い (H)</li> </ul>

表 3 2 他の利用者について

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲が良い人はいる (A)</li> <li>・ (一緒に暮らしている他の利用者とは仲が良いですか?) はい (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人だけ仲が良い、世間話をする (B)</li> <li>・みんな、友達だよ (C)</li> </ul>
不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仲良しは?) そうでもない、あるかなー、やっぱり、いない (D)</li> <li>・ (仲良しは?) いない (H)</li> </ul>

### 3) 地域生活について

地域での生活への思いについて以下にまとめる。

表 3 3 地域生活でやってみたいこと

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CDショップやいろんなところに行ければよい (A)</li> <li>・カレーショップのカレーが食べたい (A)</li> <li>・将来的に1人暮らしをしたい (E)</li> <li>・犬を飼いたい (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない (F)</li> </ul>
不明	

表 3 4 地域生活の不安

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金が心配 (A、E)</li> <li>・アパートを見つける事 (A)</li> <li>・たばこは吸わないが、新聞を読むので火事が心配 (E)</li> <li>・病気になったら心配 (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろと大変だと思う、災害にあったら諦める (B)</li> </ul>
不明	

表 3 5 希望する理由、希望しない理由

地域生活希望あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人がしていてうらやましいと思う、結婚したい (A)</li> <li>・将来的にはしてみたい、お金がどうにかなれば暮らしてみたい (E)</li> </ul>
地域生活希望なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こだわりがないから、自立生活をしたいと思わないのかなと思う (B)</li> <li>・入所する前に友達が自立生活をしていて、ヘルパーさんも週 1 日 1 時間ぐらい、その他は 1 人でずっといたんだけど、その人に聞いたら、さびしいって言ってた、寂しくて飲み屋さんとか行ってお金を使い果たしてそういう生活をしていてから、その人のことを思い出すと、貧乏していたという印象であまりいい印象はない (B)</li> <li>・自立生活をするか、入所するか悩んでいた時、昔だから役所の人たちは猛烈に反対した、(地域生活と言われても) 今更っていう感じがあるんだよ、それで、貧乏暮らしをするより、施設に入った方がお金がたまる (B)</li> <li>・もうちょっと元気な時に言ってほしかった、今の状態で自立生活と言われても 1 人つきっきりでないと無理、そうすると、行政がまた反対するだろうとそんな感じ (B)</li> <li>・顔から歯磨きからできない、今、全部やってもらっている、自分でやりたいが、自らは手が全然動かない (C)</li> </ul>
不明	

## 2) 当事者による講話

地域生活に関する発言を通して、地域生活希望あり、希望なしの両方に共通点があり、具体的には、希望あり、希望なしの両方から、お金の面での不安、健康面での不安があげられた。また、地域生活を希望しない人の理由に着目すると、入所前に知り得た 1 人暮らしのイメージのみで話をしている印象を受ける。

以上の結果を踏まえ、当事者講話については、多様な地域生活についてイメージが湧くような具体的な事例を通しての情報提供が有効ではないかと考えた。そこで、DPI 日本会議事務局長の尾上浩二氏に多様な地域生活の実態についてお話をいただいた。

尾上氏による当事者講話は、2 部構成となっており、1 部では、自身が自立生活センターでピアカウンセラーとして支援をしていた事例をいくつか話された。次に、2 部では、尾上氏、当事者調査員の麩沢氏の対談に対し、フロアーによる質問を自由に受け付けるという形式で行った。

1 部でお話いただいた事例は、ALS で医療的ニーズが高い方、脳性マヒと聴覚障害の重複障害を持ち、コミュニケーションにも障害を抱えている方、脳性マヒで 20 年間入所施設に入所していた方の 3 名であった。特に最後の 20 年間入所施設で生活されていた方については、①旅行計画の作成と実施、②先輩の 1 人暮らし障害者宅を訪ねる、③ウィークリ

一マンションを借りての体験、以上の 3 点を中心にどのようなことを行って地域生活に至ったのかを詳細にお話しいただいた。

2 部では、尾上氏が麩沢氏の地域移行の経緯についていくつか質問して麩沢氏が話し、フロアーから出る質問に適時答えていくという形式をとった。

まず、尾上氏と麩沢氏のやり取りによる話の内容としては、①介助サービスをどのように利用しているのか、②地域生活のきっかけ、③住宅探し、④お金についてであった。麩沢氏は、①については、重度訪問介護を利用して旅行などにも行っている、②については、1 人暮らしをしている人を実際に見て、自分でもできると思ったこと、若かったので、このまま施設で生活するのではなく、人生を楽しみたいと思ったことなどを話していた。③では、1 人暮らしを先にしている友人の話が参考になった、④は、はじめはどのような制度があるのかを知らない状況であったが、様々な制度を教えてもらい、収入と支出のシミュレーションを行って、お金に困らないと分かってから生活を始めたと自身の体験をもとにわかりやすく説明していただいた。

以上のやり取りの中で、フロアーから関連した質問がいくつかあった。質問の内容を列挙すると、「視覚障害と肢体不自由の重複障害を持っているが、外出や旅行などをしたい」、「家族が反対しているがどうすれば良いか」、「夜に地震があった時にどうすれば良いか」、「65 歳になり、介護保険を利用しなければいけないが、どうすれば良いか」、「バスに乗る時はどうすれば良いか」、「家族と一緒に生活したいが、どうすれば良いか」などであった。

これらの質問に対し、外出や旅行については、重度訪問介護というサービスがあることや麩沢氏が実際に旅行に行っている様子を話していただいた。次に、家族の反対については、自分より機能障害の重い 1 人暮らしをしている人を実際に家族と一緒に見る事など、具体的な方法についての話があった。また、地震については、麩沢氏は東日本大震災以降、実際に介助者と話しをして避難経路を確認したなど、具体的に配慮したことなどを話していた。介護保険については、尾上氏からどのような生活をしたいのか、どのようなサービスを使いたいかが重要であること、障害福祉サービスと介護保険サービスを組み合わせることも可能であることなどの話があった。その点は、相談支援事業所の力の見せ所であると尾上氏は話していた。以上、多くの質問があり、予定していた時間を大幅に超過して、当事者講話は終了となった。